

令和3年度 中学校「学習指導・評価計画表」教科【国語】学年【1年】担当者 宮崎 真巳

知 知識・技能
思 思考・判断・表現
態 主体的に学習に取り組む態度

月	単元材	学習内容	観点	評価規準(B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
4 1	言葉に出会うために	野原は歌う	知 態	・音声の働きや仕組みについて、理解している。	・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。	ノート プリント 定期テスト
		声を届ける書き留める		・音声の働きや仕組みについて理解し、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。	ノート 観察 定期テスト
		言葉を調べる 続けてみよう	知 思 態	・音声の働きや仕組みについて、理解している。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解し、それを使っている。 ・読書によって、知識や情報を得られることを理解している。	・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それを使っている。 ・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。	ノート 観察 定期テスト
				・「書くこと」において、目的や意図に応じて、伝えたいことを明確にしている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	
				・音声の働きや仕組みについて進んで理解し、小学校での学習を生かして声を届けようとしている。 ・これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。	・音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして声を届けようとしている。 ・進んで日常生活の中から題材を決め、これまでの学習を生かして「言葉の手帳」を作ろうとしている。	
	1 学びをひらく	シンシン	知 思 態	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うとしている。	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	ノート プリント 定期テスト 観察
				・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えようとしている。	・「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。	
				・場面の展開について、描写を基に捉え、学習課題に沿って感想を交流しようとしている。	・場面の展開について、描写を基に積極的に捉え、学習課題に沿って感想を交流している。	

				ノート 定期テスト
5	情報整理のレッスン 比較・分類	知	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解をし、それらを使っている。	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。
		思	・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉えている。	・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。
		態	・記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取ろうとしている。	・進んで記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、学習課題に沿ってメモを取っている。
7	情報を整理して書こう わかりやすく説明する	知	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解をし、それらを使っている。	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。
		思	・学習課題に沿って、情報の整理のしかたについて理解し、それらを使おうとしている。	・学習課題に沿って、積極的に情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使おうとしている。
		態	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解をし、それらを使っている。	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。
	漢字1 漢字の組み立てと部首 漢字に親しもう1	知	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えようとしている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。
		思	・漢字の組み立てと部首について理解し、漢和辞典を使って調べている。	・漢字の組み立てと部首について深く理解し、漢和辞典を使って調べている。
		態	・漢字を読みだり書いたりしようとしている。	・漢字を読みだり書いたりしようとしている。
2 新しい視点で	ダイコンは大きな根？	知	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解をし、それらを使っている。	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。
		思	・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握しようとしている。	・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。

5	ちょっと立ち止まって	知	・文章の中心的な部分と付加的な部分について捉え, 学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合おうとしている。	・文章の中心的な部分と付加的な部分について積極的に捉え, 学習課題に沿って筆者の工夫を伝え合っている。	定期テスト ノート 観察
		思	・原因と結果, 意見と根拠など情報と情報との関係について理解しようとしている。 ・「読むこと」において, 文章の中心的な部分と付加的な部分, 事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え, 要旨を把握しようとしている。	・原因と結果, 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ・「読むこと」において, 文章の中心的な部分と付加的な部分, 事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え, 要旨を把握している。	
		態	・要旨を把握し, 学習の見通しをもって考えたことを伝え合おうとしている。	・進んで要旨を把握し, 学習の見通しをもって考えたことを伝え合っている。	
9	思考のレッスン1 意見と根拠	知	・原因と結果, 意見と根拠など情報と情報との関係について理解しようとしている。	・原因と結果, 意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。	ノート 観察
		態	・学習課題に沿って, 意見と根拠の関係について理解しようとしている。	・学習課題に沿って, 積極的に意見と根拠の関係について理解している。	
		知	・音声の動きや仕組みについて, 理解している。	・音声の動きや仕組みについて, 理解を深めている。	
	話の構成を工夫しよう 好きなことをスピーチで紹介する	思	・「話すこと・聞くこと」において, 目的や場面に応じて, 日常生活の中から話題を決め, 伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において, 自分の考えや根拠が明確になるように, 話の中心的な部分と付加的な部分, 事実と意見との関係などに注意して, 話の構成を考こうとしている。	・「話すこと・聞くこと」において, 目的や場面に応じて, 日常生活の中から話題を決め, 集めた材料を整理し, 伝え合う内容を検討している。 ・「話すこと・聞くこと」において, 自分の考えや根拠が明確になるように, 話の中心的な部分と付加的な部分, 事実と意見との関係などに注意して, 話の構成を考えている。	ノート プリント スピーチ課題
		態	・話の構成を考え, スピーチをしようとしている。	・話の構成を粘り強く考え, 学習の見通しをもってスピーチをしようとしている。	
		知	・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え, その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また, 学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き, 文や文章の中で使おうとしている。	・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え, その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また, 学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き, 文や文章の中で使っている。	
	漢字に親しもう2	態	・学習課題に沿って, 漢字を読んだり書いたりしようとしている。	・学習課題に沿って, 積極的に漢字を読んだり書いたりしている。	定期テスト
		知	・単語の類別について理解している。	・単語の類別について深く理解している。	
	文法への扉1 言葉のまとめを考えよう				定期テスト

5	情報社会を生きる	情報を集めよう 情報を読み取ろう 情報を引用しよう	態	・単語の類別を理解するために、言葉の単位について理解しようとしている。	・単語の類別を理解するために、今までの学習を生かして、積極的にその前提となる言葉の単位について理解しようとしている。	ノート 観察
			知	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解している。	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それを使っている。	
			思	・「書くこと」において、目的や意図に応して、伝えようとしている。 ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。	・「書くこと」において、目的や意図に応して、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。	
6	3 言葉に立ち止まる	詩の世界	態	・引用のしかたや出典の示し方について理解し、学習課題に沿ってそれらを使うとしている。	・引用のしかたや出典の示し方について積極的に理解を深め、学習課題に沿ってそれらを使っている。	定期テスト ノート 観察
			知	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うとしている。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使っている。	
			思	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えようとしている。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えか伝わる文章になるように工夫しようとしている。	・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 ・「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えか伝わる文章になるように工夫している。	
	比喩で広がる言葉の世界		態	・文章の構成や展開、表現の効果について考え、詩を創作しようとしている。	・文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもつて詩を創作しようとしている。	定期テスト ノート 観察
			知	・比喩などの表現の技法を理解し使おうとしている。	・比喩などの表現の技法を理解し使っている。	
			思	・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握しようとしている。	・「読むこと」において、文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握している。	
	言葉1 指示する語句と接続する語句		態	・要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えている。	・進んで要旨を把握し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。	定期テスト
			知	・指示する語句と接続する語句の役割について理解している。	・指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。	

			<p>・指示する語句と接続する語句の役割について理解している。</p>	<p>・今までの学習を生かして、積極的に指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めようとしている。</p>	
	言葉を集めよう もっと「伝わる」表現 をめざして	知	<p>・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使おうとしている。</p>	<p>・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている</p>	ノート 観察
		態	<p>・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使おうとしている。</p>	<p>・今までの学習を生かして、積極的に事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使っている。</p>	
7	読書生活を 豊かに	読書を楽しむ 本の中の中学生 あと少し、もう少し 西の魔女が死んだ ブラインドの向こうに 見える光 読書案内 本の世界を 広げよう 読書コラム 本との出 会い	<p>・読書によって、知識や情報を得られることを理解している。</p>	<p>・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。</p>	自習ノート(読 書記録)
	4 心の動き	大人になれなかつ た弟たちに……	<p>・読書によって、知識や情報を得られることを理解している。</p>	<p>・読書が、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりすることに役立つことを理解している。</p>	定期テスト ノート 観察
		思	<p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを持っている。</p>	<p>・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにしている。</p>	
		態	<p>・文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを持ち、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝え合おうとしている。</p>	<p>・文章を読んで理解したことに基づいて、積極的に自分の考えを確かなものにし、学習課題に沿って本を読んで考えたことを伝えている。</p>	
	星の花が降るこ ろに	知	<p>・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解している。</p>	<p>・比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を深く理解している。</p>	定期テスト ノート 観察
		思	<p>・「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈しようとしている</p>	<p>・「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈している。</p>	
		態	<p>・場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、考えを伝え合おうとしている。</p>	<p>・進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合っている。</p>	
	聞き上手になろう 質問で話を引き出 す	知	<p>・音声の働きや仕組みについて、理解している。</p>	<p>・音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。</p>	課題 観察

項目を立てて書こう 案内文を書く	思 態	・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉えている。	・「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめている。	課題 観察 ノート(プリント)
		・記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、話を引き出そうとしている。	・進んで記録したり質問したりしながら、話の内容を捉え、今までの学習を生かして話を引き出している。	
	知 思 態	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解し、それらを使おうとしている。	・比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。	課題 観察 ノート(プリント)
		・「書くこと」において、目的や意図に応じて、伝えようとしている。	・「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。	
		・集めた材料を整理し、学習課題に沿って案内文を書こうとしている。	・集めた材料を積極的に整理し、学習課題に沿って案内文を書いている。	
	[推敲]読み手の立場に立つ	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うとしている。	・事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	定期テスト
		・「書くこと」において、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えようとしている。	・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述のしかたなどを確かめて、文章を整えている。	
		・文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲しようとしている。	・粘り強く文章を整え、学習課題に沿って案内文を推敲している。	
	言葉2 方言と共通語	・共通語と方言の果たす役割について理解している。	・共通語と方言の果たす役割について十分に理解している。	定期テスト
		・今までの学習を生かして、共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。	・今までの学習を生かして、積極的に共通語と方言の果たす役割について理解している。	
	漢字2 漢字の音訓	・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うとしている。	・小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表の漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。	定期テスト
		・学習課題に沿って、漢字を読んだり書いたりしようとしている。	・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いている。	